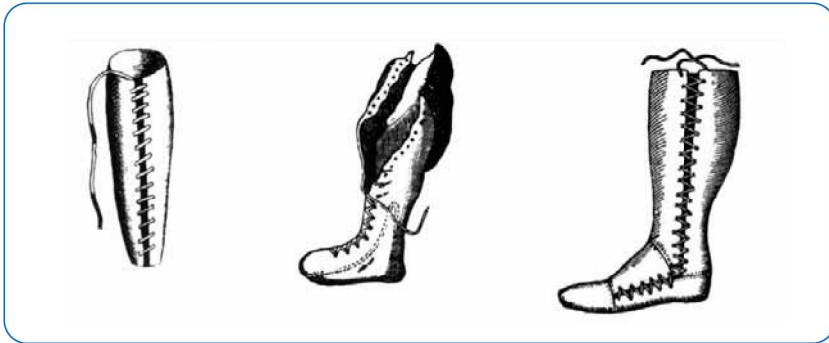


メディカル・コンプレッション・ストッキングの歴史

静脈疾患に対して圧迫を用いることは、古くから確立されている治療方法です。西暦350年～450年頃、ヒポクラテスは、包帯とその材料について述べた最初の圧迫療法についてのテキストブックを著述しています。



タイヤ産業においてよく知られている、イギリスのチャールズ・グッドイヤーは、ゴムに弾力性と耐久性を与える製造方法（硫化）を発見しました。ユリウス・レンブラーはグッドイヤーのアイデアを用い、伸縮ゴムを材料とする伸縮ストッキングを製造しました。

1874年、レンブラーはドイツのチュービンゲン地方のゾイレンローダに製造工場を設立しました。その後、その地方での労働者の技能が高まることによって、チュービンゲン地方はコンプレッション・ストッキングの世界的な中心となりました。今日においても、この古くからの伝統は、ゾイレンローダに本拠を構えるバウアーファインド社により受け継がれています。

今年創業76年を迎えるバウアーファインド社は、メディカル・コンプレッション・ストッキング分野における、世界のリーディング・カンパニーの一つとなっています。1929年以来、バウアーファインド社は、ヴェノトレインのブランド名で知られる、最高級のメディカル・コンプレッション・ストッキングの製造において大きな成功を収めています。

静脈疾患

現代社会が抱える最も普遍的な問題の一つ

繁栄と豊かさ、そして平均寿命の延長、このような時代の中でいわゆる文明病と呼ばれる疾患が増加しています。静脈疾患は心臓や循環疾患に加えて、現代社会で最も多く見られる疾患の一つとなっています。

国際的な学術研究は、これらの血管疾患には万人が罹患し得るとしています。欧州では（このことは他の地域でも等しく正しいことですが）、スパイダー・ヴェインと呼ばれるわずかな変性から、最も重度の段階である慢性静脈疾患（CVD）や下肢の潰瘍、下肢静脈潰瘍までその範囲は様々とは言え、成人の10人中9人は静脈系に変性が見られます。

静脈疾患の原因

静脈疾患の根本的な原因は、静脈系での血液循環の不全です。この欠陥をよりよく理解するために、血液の循環系を確認します。

我々の血液循環は、動脈系と静脈系により成り立っています。それぞれの静脈系はお互いに毛細血管によりつながっています。

動脈系は、その圧力の平均値が100mmHgであることから高圧系と呼ばれており、それを通る血液は心臓から

メディカル・コンプレッション・ストッキングの紹介

動脈に送り込まれています。

一方、静脈系はその圧力が臥位で約5mmHg、立位で90mmHgということから低圧系と呼ばれており、重力に反しながら身体の各器官から血液を心臓に送り戻します。

●静脈の主な働きは以下の通りです。

- 器官や組織から心臓に血液を戻す。
- 体温調整のために、皮膚に血液をもたらす。
- 循環により、必要な血液の配分を調節する。

静脈系は、深静脈と皮静脈から構成されています。双方の静脈系は貫通静脈でつながっており、貫通静脈は皮静脈系から深静脈系へと血液を輸送します。脱酸素をされた血液の環流のうち約90%は深静脈系で行われており、皮静脈でのそれは10%足らずにすぎません。このことから、深静脈系内の不全是皮静脈系の不全よりも、より深刻であると言えます。

静脈系のみが、血液の輸送を行っているわけではありません。下記のように、他の様々なメカニズムが血液の輸送をサポートしています。

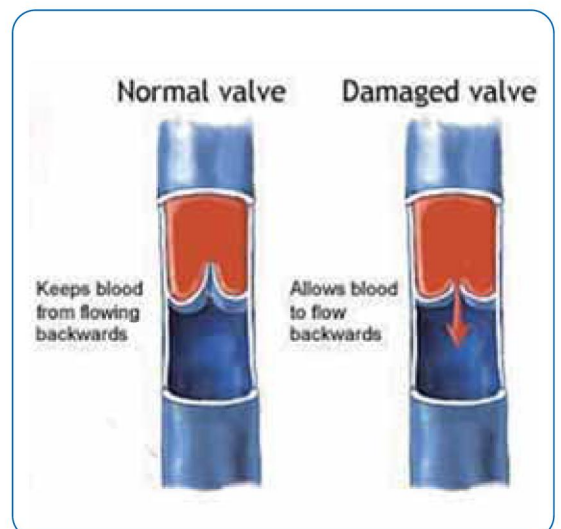
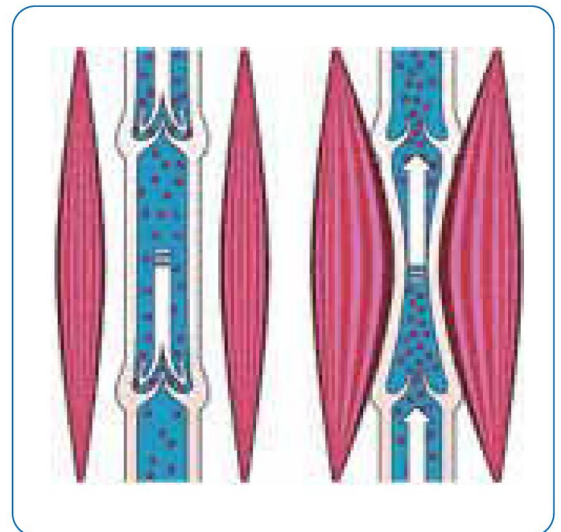
マッスル・ポンプ

筋収縮は深静脈を圧迫し、深静脈内の血液を心臓に向けて押し上げます。この筋収縮の間、深静脈内の圧力は皮静脈内の圧力よりも高くなります。両静脈を接続する貫通静脈の弁は、筋収縮の間中閉じて、深静脈内の血液が皮静脈へ押されることを防いでいます。筋の安静時には、深静脈は膨張し、深静脈と皮静脈の双方での吸引効果が起こります。筋の安静時における深静脈内の圧力は、皮静脈内の圧力よりも低くなります。その時、貫通静脈の弁が開き、皮静脈内の血液が深静脈内へと流入することができます。

静脈弁

弁は、筋が緊張する時に開き、血液の心臓への流れを許します。反対方向への流れに対して静脈弁は閉じ、血液の逆流を防ぎます。

マッスル・ポンプ効果と静脈弁の組み合わせは、逆流防止弁付ポンプの原理と同じものです。ポンプはバルブで区切られた一つ目の節から、次の節へと血液を押し上げます。



何が、静脈を疾患にいたるよう影響し、そのリスクとなるのか？

静脈疾患は遺伝によるものが大半です。しかしながら、運動不足、長時間の立位、座位、加齢、妊娠など静脈疾患に影響を与える多くの原因があります。

静脈瘤や慢性静脈不全（CVI）のような疾病が、病態として臨床で現れ、それらは治療しないと悪化していく傾向があります。このことから、初期の段階で効果的な療法を導入することが重要となります。このような症状悪化の予防は、異なる視点で見ると、就労時間の喪失や入院期間の延長といった、患者本人の負担だけでなく、社会全体が負うコストの節約にもつながります。

スタンダードな静脈疾患：静脈瘤



初期静脈瘤



進行した静脈瘤

重篤化した静脈疾患：慢性静脈不全（CVI）



圧迫療法とは何なのでしょう？

静脈疾患を治療する上でのゴールド・スタンダード、黄金律とも言えるのが圧迫療法です。

最新のメディカル・コンプレッション・ストッキングは、肌への負担の少ない糸で編まれたニット生地で作られており、その着脱も容易で、体温のコントロールも適切になされます。外観についても、透明感があり、きめ細かな市販のストッキングと見分けるのが難しい程で、職場や普段の生活で身につけるのに十分に満足いただけるものとなっています。

圧迫療法は慢性的な静脈疾患の治療における基礎的な療法となっています。

メディカル・コンプレッション・ストッキングの紹介

圧迫は、

- ※下肢の静脈に起きる血液の逆流を改善します。
- ※マッスル・ポンプを補助します。
- ※下肢の血管内の圧力を減じます。
- ※下肢の血液の容積が増大することを減じます。
- ※下肢を圧迫することで、浮腫や組織での圧力を減じます。

効果的に療法への補助を得るためには、メディカル・コンプレッション・ストッキングは毎日装着しなければなりません。また、コンプレッション・ストッキングが適切な採寸を経て、正しく適用装着されることが不可欠です。この適切な採寸、適用、装着は患者が圧迫療法を好意的に受け入れるかどうかを直接左右するものです。

メディカル・コンプレッション・ストッキングは静脈とリンパ疾患の長期的な治療に用いますが、妊娠期間中や効果療法後、静脈瘤術後に一時的に適応することもできます。浮腫がある場合には、コンプレッション・ストッキングはうっ血除去をした下肢を適切に採寸して選びます。メディカル・コンプレッション・ストッキングは、一度患者にその装着方法をデモすることで、患者自身が着脱できるようになるのが一般的です。

日本国内へは、ヴェノ・トレインの中でも比較的コンプレッションクラスの低い、1、2のタイプを導入いたします。

ヴェノ・トレイン ルック

ファッション性に富んでいます。
とても目立つ色合いです。
デザインも魅力的です。



ヴェノ・トレイン マイクロ

マイクロファイバー（微細繊維）を多く含んでいます。
通気性に優れます。
長い年月にわたり、その品質が証明されています。



ヴェノ・トレイン チャンピオン

速乾性の繊維を混合しています。
耐久性にも優れ、男性にも適します。
お手入れも簡単です。



VenoTrain® and everything is easier!